

あとがき

Spine neurology という公式用語は英語圏にはない（はずである）。筆者の記憶では 2003 年に井上聖啓先生が第 14 回日本末梢神経学会（東京）を開催された際に、この名称のシンポジウムがあり、井上先生がご自身の造語であると話されていたと思う。以後、脊椎疾患の神経学の理解・研究は大きく進歩した。今回の特集に執筆いただいたのは井上先生以下、園生雅弘、福武敏夫、安藤哲朗、三好光太の各先生で、我が国を代表する spine neurology の大御所と言える方々である。各論文に共通するコンセプトは、脊椎疾患の診療・研究には脳神経内科医が積極的に関与すべきであり、あくまでも正確な神経学的所見を核として画像診断との一致や乖離を解釈するという点である。力作が集まった今回の企画を自賛している。

澁谷和幹先生の筋萎縮性側索硬化症（ALS）における split hand は、やや異色であるが、頸椎性筋萎縮症との対比において見出され、発展してきたトピックである。記載されているように ALS では全く同一の神経支配を受けている第一背側骨間筋と小指外転筋（C8 髄節～尺骨神経）が解離し、第一背側骨間筋が圧倒的に優位に萎縮する。これに類似した現象の初めての記載は 1992 年にカナダの Andrew Eisen による『Muscle & Nerve』誌の総説中の「ALS では例外なく母指球が小指球より高度に萎縮する」という 1 文である。ただしこの部分には文献が引用されていなかった！

この記載を読んで以来、筆者はこの現象を電気生理学に検討し、ALS では母指球（短母指外転筋）の複合筋活動電位と運動単位数が、

小指外転筋よりも高度に低下することを「解離性小指筋萎縮（dissociated small muscle atrophy）」と称して 1999 年の『Muscle & Nerve』誌に公表した。この論文に対してクリーブランド・クリニックの筋電図学者である Asa Wilbourn が「The split hand syndrome」というタイトルで Letter to the Editor を投稿し「ALS における解離性筋萎縮の記載は自分が 1 番先に発見し、第一背側骨間筋の萎縮を伴うことを米国電気診断学会の抄録として何度も記載した」と主張した。

筆者はこの Letter への返信として「学会抄録は正式な公表とは言えない。論文化してこそ世間に知られるのであって、論文化しないのは科学者として怠慢である」との反論を投稿し、当時の編集長であった Michael Aminoff から「感情的な文章はやめるように」と怒られて文章を修正した。Split hand の用語は 1999 年に登場したことになる。

その後筆者は園生先生らとの多施設共同研究で再度「解離性小指筋萎縮」を多数例で確認し、2008 年の『Muscle & Nerve』誌に公表した。この論文執筆中に、Wilbourn 先生が急逝された！ そのため敬意を表して文頭に「Split hand は Wilbourn によって命名された」と記載することにした。さらにその後、2012 年に Eisen 先生との共著で「Split hand in ALS」という総説を準備していたところ、驚いたことに Eisen から「1992 年の記載は Wilbourn の学会発表を聞いて書いた」ことを知らされた。すべては Wilbourn が先であった！

Wilbourn 先生に謝りたい。

（桑原 聡）

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
高坂 新一	作田 学
杉田 秀夫	高倉 公朋
辻 省次	寺本 明
中里 洋一	中込 忠好
彦坂 興秀	平山 恵造
藤澤浩四郎	真柳 佳昭
水澤 英洋	水野 美邦
柳澤 信夫	

編集委員

河村 満（編集主幹）	
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	三村 将
森 啓	

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰
	（五十音順）

オンライン投稿

ID : brain PW : nerve

本誌は MEDLINE に
収載されており、掲載論文は
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第 71 巻第 3 号

2019 年 3 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価：本体 2,700 円＋税（送料実費）

2019 年年間購読料（送料弊社負担・本体価格）

冊子版 34,080 円

電子版／個人 34,080 円

冊子＋電子版／個人 39,080 円

ご購入に関するお問い合わせ先（販売部直通）

TEL 03-3817-5659 FAX 03-3815-7804

印刷所

（株）アイワード TEL 011-241-9341

広告申込

（株）ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

編集室直通

TEL 03-3817-5701

FAX 03-3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/

mag/bn

担当：小路・小段・前野

Published by IGAKU-SHOIN

Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,

Tokyo ©2019, Printed in Japan